2024.12

目次 -CONTENS-

- 2 第53回防衛問題セミナーを開催
- 3 施設整備工事に関する意見交換会を開催 施設整備調査チーム(エルフォース)訓練
- 木更津駐屯地創立56周年記念・第50回木更津 航空祭

令和6年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式開催

- 調達部の業務紹介 5
- わが町紹介 ~茨城県鉾田市~ 8
- 事務所だより ~百里防衛事務所~ 9
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い
 - ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
 - ・ドローンの規制についてのお知らせ
 - ・横田飛行場周辺の高さ制限
 - · 在日米軍従業員募集



鹿島灘海浜公園から見える日の出 (写真提供:鉾田市)



編集・企画発行:北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/

管轄区域:東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



第53回防衛問題セミナーを開催





令和6年8月23日(金)、埼玉県さいたま市の さいたま新都心合同庁舎1号館において、第53回 防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、「激変する国際情勢に対する 我が国の防衛力強化」をテーマとしましたが、これは、 わが国を取り巻く安全保障環境が、ロシアによる ウクライナ侵略のような力による一方的な現状変更や その試みが行われるなど、戦後最も厳しく複雑な 状況に直面していると思われる中、こうした状況に 対峙していくため、わが国の防衛力強化の必要性や 新たな防衛力の方向性等に係る防衛省・自衛隊の 政策・取り組みについて、地元自治体や国民の皆様に 理解を深めていただくことを目的として開催したもの です。

当日は、主催者を代表して森北関東防衛局長が 挨拶を行った後、第1部では防衛省防衛研究所研究 幹事の兵頭慎治氏から「ロシア・ウクライナ戦争が 日本の安全保障に与える影響」について、各国の 立場や歴史上の背景なども含めた内容で、また、 第2部では元陸上幕僚長の湯浅悟郎氏から「ロシアの ウクライナ侵攻に思うこと」について、ご自身の経験 なども交えた内容で、それぞれテーマに沿ったかたちで 資料を用いてご講演いただきました。

講演後、参加者からの質問に対してもわかりやすく回答していただき、アンケートでは、「ウクライナ戦争の 現実をよく理解できた。」、「ロシア・ウクライナ戦争は日本に関係ない話しだと思っていたが、他人事では ないと実感した。」、「国防意識向上と法律整備の重要性が理解できた。」、「抑止のための力が必要だと 再認識できた。」など、多くのご意見・ご感想を頂戴することができ、来場された方々から好評をいただいた セミナーとなりました。

兵頭研究幹事のご講演





施設整備工事に関する意見交換会を開催

令和6年9月20日(金)、さいたま新都心合同庁舎1号館2F講堂(埼玉県さいたま市)において、自衛隊の 施設を建設または改修する施設整備工事に関する意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、北関東防衛局及び部隊等の関係者が一堂に会し、局からの施設整備工事に関する 情報提供や部隊等からの意見を聞くなどして、相互の連携強化を図り、今後の業務を円滑に遂行する ための資とすることを目的としており、当局含め49機関、約157名の方々が来場されました。

当日は、主催者の代表として久松調達部長が開会の挨拶を行った後、2部構成で意見交換会を実施 しました。

第1部では、濱川調達計画課長など各担当課長から、当局の施設整備の執行等に係る情報提供を行い、 第2部では、施設整備全般に関する事項について、当局と各部隊等の参加者との活発な意見交換を行い、 最後に東部方面総監部野邊施設課長から全体を通しての所見を頂き、今後の施設整備工事を実施する 上で、今後の課題を明確にするなど有意義な意見交換会を実施することができました。









東部方面総監部

施設整備調査チーム(エルフォース)訓練

令和6年9月26日(木)、北関東防衛局調達部の職員で構成される施設整備調査チームの訓練を実施 しました。このチームは地震、大雨その他の災害等により被災した自衛隊施設について技術支援等を 迅速かつ明確に実施し、自衛隊施設の早期復旧を図るために設置しているものです。

この訓練は、発災から派遣準備、被災駐屯地への派遣、施設の被災状況の確認など施設整備調査 チームの一連の行動について訓練を実施することで、各種対処能力の維持・向上を図ることを目的として おり、今回は、地震による被害が自衛隊施設に発生したという想定で行いました。

陸上自衛隊東部方面総監部から当局への技術支援の要請に基づき、十条駐屯地へ同チームを派遣し、 被災建物や設備などの確認及び応急危険度判定を行い、被災部隊等へその判定結果の説明や今後の 補修方法を提案するなどの訓練を実施しました。この訓練により、対処能力の向上を図ることができました。



コンクリート歩道調査実施



配電地中線路調査実施



部隊とのブリーフィング

木更津駐屯地創立56周年記念・第50回木更津航空祭

令和6年10月5日(土)、「木更津駐屯地創立56周年記念・第50回 木更津航空祭」が開催され、あいにくの雨模様にもかかわらず、会場は 約6,000人の来場者で賑わいました。

会場では、陸自輸送機V-22オスプレイをはじめ、大型輸送 ヘリコプターCH-47チヌーク、また新型多用途へリコプターUH-2 など各種航空機の地上展示のほか多くの催しが行われ、なかでも 圧巻だったのは、第1輸送へリコプター団所属の各種航空機による 訓練展示で、敵部隊に占拠された離島を奪還するとの想定のもと、 観測へリによる航空偵察、輸送へリからの高機動車の展開、多用途 へリからの隊員のリペリング降下、オスプレイによる地上部隊の輸送 など実戦さながらの展開は多くの観客の目を釘付けにしました。





新型多用途へリコプターUH-2

この催しは、駐屯地の役割への理解と地域社会の皆様との絆を深めるため毎年開催される恒例のイベントで、各種航空機の機内見学やオスプレイの体験搭乗も行われたほか、高等工科学校ドリル部の演技、拓殖大学紅陵高等学校吹奏楽部、ダンス部などによる様々なパフォーマンスが披露され、構内に設置された35店舗のブースでは



V-22オスプレイへ体験搭乗に向かう来場者

会場限定グッズや軽食の販売に家族連れが賑わう姿など、地域の皆様との有意義な交流にそれぞれが 駐屯地内でのお祭りを満喫していました。

令和6年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式 開催

令和6年10月22日、東京都羽村市「プリモホールゆとろぎ(羽村市生涯学習センター)」において、 令和6年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式を挙行しました。

本年度は、40年勤続者24名、30年勤続者87名、20年勤続者60名、10年勤続者44名の合計215名の 皆様が表彰されたところです。

この表彰式は、北関東防衛局管内にある横田飛行場やニューサンノー米軍センターなどの在日米軍施設で、永きにわたり勤務された従業員の方々の功労を称えるため、日米の共催で開催しているもので、被表彰者の各軍代表者に対し、北関東防衛局長から表彰状が授与され、第5空軍参謀長レッシュ大佐、在日米海軍司令部外国人労務部顧問ビール氏、AAFES横田エクスチェンジジェネラルマネージャーデフェリス氏から、それぞれ記念品が授与されました。

また、来賓を代表して東京都都市整備局基地対策部基地対策担当統括課長代理神崎様から祝辞を頂戴いたしました。

式の最後の答辞では、被表彰者代表から「長年にわたって培った知識や経験を生かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の懸け橋としての役割を果たしてまいります。」と述べられ、厳粛な雰囲気に包まれながら表彰式は幕を閉じました。



調達部は、管内の1都7県に所在する自衛隊や在日 米軍の活動基盤となる防衛施設を建設する施設整備を 担当しています。

防衛施設は、一般的な事務を行う庁舎や飛行場施設、 港湾施設、通信施設などの部隊運用に関わるものから、 射撃訓練場、体育館、隊舎、食堂などの隊員が訓練や 生活に使用するものまで多種多様にわたっています。

調達部は、これらの施設整備に関わる施設計画を はじめ、調査・設計から建設工事まで一貫して実施 しています。



調達計画課

調達計画課では、防衛施設のユーザーである自衛隊や在日米軍の要望に基づいて調査・設計・工事の 発注計画を策定したり、予算や執行の管理を行うとともに、ユーザーのニーズを満足する施設を必要となる 時期までに整備できるよう関係各所との調整業務を行っています。調整先は北関東防衛局の各課や防衛省・ 自衛隊の各組織に加え、工事等の受注者や関係自治体、在日米軍など多岐にわたります。管内各地の 事業について、時には現地に直接赴き、ユーザーである自衛隊や在日米軍の部隊担当者と事業 スケジュールを調整したり、懸念事項について関係者が一堂に会して机に並べた図面資料や目の前の 現場の状況を踏まえて解決策を検討するなど、担当者間で連携・協力しながら、自衛隊や在日米軍の 活動基盤となる施設整備の円滑かつ着実な実施に努めています。



在日米軍との打合せ



自衛隊との総合会議

事業監理課

事業監理課では、大規模事業や工期に制約がある事業において、計画どおりに完成させるため、建設プロジェクトマネージメントを行っております。

建設工事の実施に係る計画段階から施設の引渡しまでの進捗を一元的に管理する業務となります。

毎月、各事業のレビュー会議を開催、事業の進捗を確認し、 懸案及び問題意識を共有し、この会議の場で効率的な懸案 事項の解決を図っております。

その他に、調達部が実施する調査・設計業務、工事等の 完成時に、施設整備や成果物の確認を行い、自衛隊や在日 米軍から求められる性能や品質が満たされているか検査を しております。



レビュー会議(月1回開催)



施設整備の検査状況

建築課

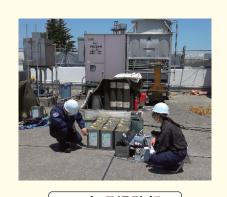
建築課では、さまざまな地域における庁舎、病院、飛行機等の格納庫、公務員宿舎など多岐にわたる 自衛隊施設や米軍施設を整備するために、新設、改修、解体工事における設計や工事の監督をしています。 設計の段階では、建物使用者からの要望を満たしつつ、周辺環境への影響や、建物が地盤に耐えられるか などの調査を行い、各種設計基準、各種法令、各自治体の法令手続きを踏まえた設計の監督を行います。 工事の段階では、施工業者が設計図書どおりに建設工事を実施しているか実際に工事現場に赴いたり、 施工業者から提出された工事書類を確認したり、品質や規格が基準に達しているかどうか現場を監督 します。

いずれも各地域の特性を踏まえ、設計や工事の監督をしています。





施設整備状況



工事現場監督

土木課

皆さんの家の周りにある身近な土木の施設には、アスファルト 舗装の道路や雨水(汚水)のマンホールや側溝などがありますが、 地中に埋設された給水などの配管も含め、生活をするための 基盤となる土木施設です。これら基盤となる施設を整備する ために設計、積算、工事の監督等を行うのが、私たち土木課の 仕事になっています。

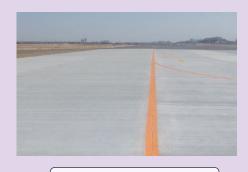
土木施設には、飛行機が離着陸する滑走路のコンクリート舗装、航空燃料タンク、給水(浄水)施設、汚水処理施設、 法面整備や緑化、外柵などがあり、どれもが自衛隊施設の 基盤となる施設です。

基盤となる施設だからこそ、より安全で機能的に使用できる ことを目指して業務に取り組んでいます。

これらの施設を無事に完成させ使用されている姿をみると、 達成感とともにやりがいを感じる仕事です。



外柵



コンクリート舗装

設備課

設備課では、建物の電気、通信、給排水、空気調和といった設備の設計、積算、監督等を主にする仕事で、例えば、家の中にある照明やコンセント、電話、インターネット、エアコンなどの身近な設備、壁の裏や天井の裏に隠れている配線や配管などは、それぞれ役割を持っており、人が生活するために必要な設備機能を建物に持たせるのが、私たち設備課の仕事となっています。また、燃料施設、航空灯火などの設備もあり、自衛隊や米軍が安定的に使用できるように日々緊張感をもって業務に取り組んでいます。実際に建物が出来上がって、照明が点灯する瞬間やエアコンから冷たい風が吹いた瞬間は、感動や達成感で胸が熱くなり、やりがいのある仕事だと感じます。



事務室



機械室

~茨城県鉾田市~

『日本でいちばん野菜をつくるまち』

鉾田市は、茨城県鹿行エリアの最北部から中央部にかけて位置し、県都水戸市、筑波研究学園都市、鹿島港まではいずれも30km圏内、首都東京まで90km圏内にあります。



東の鹿島灘に沿って位置する鉾田市は、北は涸沼、南は北浦に接し、その内陸部のほとんどは平坦地となっています。この平坦な地形と温和な気候を活かした農業が基幹産業であり、首都圏全体の食料供給地域として、また、メロン、イチゴ、スイカなどの果実や、トマト、甘藷(さつまいも)といった野菜の栽培でも全国有数の生産地として知られています。



鉾田のメロンは日本一

鉾田市は、メロンの産出額が市町村別で全国第1位を誇る一大産地です。日本屈指のメロンの産地として、 青肉の「オトメメロン」「アンデスメロン」、赤肉の「クインシーメロン」、茨城県オリジナルの青肉品種「イバラ キング」など4月から6月頃にかけて多様なメロンが出荷されています。また夏から秋にかけては青肉の 「アールスメロン」があります。メロンはなんといっても甘さと香りが際立つ"果物の王様"。贈り物としても 愛用されています。









防衛施設周辺対策事業

隣接している小美玉市に航空自衛隊百里基地があり、基地の運用に伴う支障を防止・軽減することを目的として、防衛省による補助を受けています。令和6年3月31日に開園した鉾田市みのわ水鳥公園は防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して整備しました。公園の敷地面積は42,297平方メートル。広場や遊具のほかに木道・ビオトープ・湿地ゾーンがあり、水鳥やヒヌマイトトンボをはじめとする涸沼の様々な生き物に触れることができる、自然の素晴らしさ・大切さを体感できる公園となっています。



文・写真ともに鉾田市に寄稿していただきました。 右のイラストは鉾田市マスコットキャラクター「ほこまる」。

事務所だより

~百里防衛事務所~

食の宝庫 いばらき!

百里防衛事務所が管轄する茨城県は、豊かな自然で育てられた農産物やお肉、魚介がいっぱい揃う食の宝庫。そんな茨城県には、メロン、栗、れんこん、チンゲンサイなど多くの「日本一」があります。さらには、常陸牛や常陸の輝きといったブランド肉や、これからの時期にぴったりのアンコウなど、美味しいもので溢れています。今回は、その数ある「うまいもん」の中から厳選した逸品を紹介します。

1. ほしいも

茨城県は国内のほしいも生産のシェア9割を占めており、水はけのよい土壌と冬季に乾いた潮風が吹く環境がほしいも作りに適しています。さつまいものみを使用し、砂糖や添加物を一切使用していないので、自然な甘さが楽しめ、安心して食べられます。薄くスライスした「平干し」や、さつまいもをそのまま干した「丸干し」など、形態によって様々な食味や食感が楽しめます。





2. 恵水(けいすい)

茨城県オリジナル品種で、酸味が少なく深い甘みが感じられる、香り高くみずみずしい梨です。深みのある赤めの表皮は、見た目にも高級感があります。大玉で食べ応えがあり、梨特有のシャリシャリとした食感と果汁が溢れるほどのみずみずしさが魅力です。秋の深まりとともに味にコクがのり、冷蔵すると保存がきくのも特長です。

3. 常陸の輝き

茨城県開発の肉質に優れたデュロック種の種豚「ローズD-1」を 交配して生産した「三元豚」です。肉質に最も影響を及ぼす肥育後期 に、専用飼料を出荷前の55日以上給与することで、赤身に脂(サシ) が入り、一般の豚肉よりもやわらかく、旨みが強く、香りがよいのが 特長です。その評価はたいへん高く、有名料理人の方々も絶賛する おいしさです。





4. 常陸乃国いせ海老

多様な生き物に恵まれた豊かな常磐の海で育ち、茨城で水揚げされたいせ海老の最大の特徴は、「サイズが大きい」こと。「常陸乃国いせ海老」は、その中でも独自に定めたブランド基準をクリアした、特に大ぶりで美しさを兼ね備えた最高級の海老です。透明感のある身はプリっと肉厚で、ほんのりと甘みがあります。お刺身だけではなく、アクアパッツァや天ぷらなど、様々な料理でお楽しみいただけます。

5. 常陸乃国しらす

①漁師の自信の一網のしらすであること、②短時間の網入れで生きたまま漁獲する一艘曳きで獲れたしらすであること、③プランクトンが豊富な親潮と黒潮がぶつかる好漁場の茨城県沖で獲れたしらすであること、④しらす加工品のきれいな曲線を描く割合を示す「『し』字率」が95%以上となるよう迅速に加工されたしらすであること、この4つの厳格な基準をクリアした最高鮮度のしらすです。



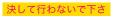
写真提供: 茨城県

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

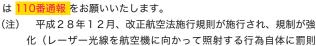
レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄 県内等で飛行中の航空機に対して レーザー光線を照射するという事 案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたら しかねない大変危険で悪質な犯罪 ですので 決して行わないで下さ



照射している人を見かけた方



(50万円以下の罰金))。 刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の 罰金) 航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲

平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕例 あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課

役) 等に該当する場合あり。

(代表) 048-600-1800 (内線:2226)

(直涌) 03-5362-4851



■レーザー光線による操縦十への影響(イメージ)

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている自衛隊施設/ 米軍施設その周辺地域(周囲約300m)の上空における ドローン等の飛行は、原則として禁止されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- ●警察官等による安全確保措置
- ●最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域 の ト空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・ 区域のト空(レッド・ゾーン)



※このほか、航空法上の無人航空機の飛行禁止空域においてドロー ン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等に は、別途、国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続 の詳細については、防衛省HPをご参照ください。 https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先

防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 【代表】 048-600-1800 (内線: 2226)

米軍の飛行場周辺における 建造物等の設置について

航空機が安全に離着陸するためには、飛行場 周辺の一定の空間を、障害物のない状態にして おくことが重要です。

米軍の飛行場周辺において、建造物等の設置を 計画されている方は、北関東防衛局へお問い合わせ ください。

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に ご連絡願います。

(横田飛行場関連)

北関東防衛局横田防衛事務所 (代表) 042-551-0319

(木更津飛行場関連)

北関東防衛局千葉防衛事務所 (代表) 043-221-3541



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者

労務管理機構【エルモ】では、

在日米軍基地で勤務する従業 員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホー

ムページをご覧いただくか、

下記の支部にお問い合わせく

ださい。

※求人情報提供メールサービスに 登録すると、希望する求人情報 がホームページに掲載される都 度、お知らせメールが送信され ますのでご利用下さい。



【X(I⊟Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。 ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ)@LMO_recruit」



X (旧Twitter)

【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

所:東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

話:042-542-7663

担当施設:横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

https://www.lmo.go.jp L M O



エルモ

ホームページ



求人情報 本州・九州の

基地

広報紙 バックナンバ・



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。